

令和4年度 障害を理由とする差別に関する相談状況について

<相談件数>

・ 相談件数

障害者差別解消推進員（県）	14件
障害者差別地域相談員（市町村）	11件

合計
25件

・ 受付時における分類

不当な差別に関わる相談	5件
合理的配慮に関わる相談	7件
その他	13件

県	地域
0件	5件
3件	4件
11件	2件

□ 相談件数の推移

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
障害者差別に関わる相談件数	43件	54件	64件	52件	71件	33件	12件	329件
内数) 不当な差別に関わる相談件数	22件	24件	22件	22件	25件	12件	5件	132件
内数) 合理的配慮に関わる相談件数	21件	30件	42件	30件	46件	21件	7件	197件

□ 「その他※」の相談

「障害者差別に関わる相談」として受理したが、傾聴事案として対応したもの、及び不当な差別や合理的配慮の提供に関わる相談として類型しなかったもの

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
障害者差別地域相談員	16件	16件	38件	6件	35件	2件	2件	115件
障害者差別解消推進員	10件	11件	32件	27件	30件	16件	11件	137件
合計	26件	27件	70件	33件	65件	18件	13件	252件

□ 障害種別相談件数

- ・ 知的障害者・精神障害者に関する相談の比率が高かった。

障害種	件数	障害種	件数
聴覚障害	1	発達障害	3
身体障害	3	難病	2
知的障害	5	不明	5
精神障害	6	計	25

□ 相談者別相談件数

- ・ 当事者とその家族からの相談が7割以上を占める。

相談者	件数	相談者	件数
当事者	11	他	1
家族	8	不明	2
支援者	2		
行政	1	計	25

□ 相談分野別相談件数

- ・ 福祉や行政に関わる相談の比率が高かった。

相談分野	件数	相談分野	件数	相談分野	件数
労働	2	不動産	0	その他	3
サービス	2	医療	1	不明	2
行政	3	教育	1		
福祉	9	公共交通	2	計	25